

あきら わたし
諦めようとした私

Tran Thi Ngan
(チャン ティ ガン)
出身地：ベトナム

皆さんの夢は何ですか？その夢はまだ持ち続けていますか？もう諦めましたか？わたしは日本へ留学して就職するという小さな夢をずっと持っていました。そのため、去年の7月に家族と離れて、日本への留学を決めました。新しい国へ来てから、数々の困難を重ねて来ました。日本の気候や生活にまだ慣れてなくて乗り物に酔ったり、よく病気になりました。一人暮らしは辛かったです。学校もアルバイトも思い通りに上手くいかなかったです。日本語は複数の意味があり、覚えるのが本当に難しいです。例えば「いいです」には「良い」という肯定の意味だけではなく「要らない」という否定の意味もあります。初めてコンビニのアルバイトをした時、この否定の意味が分からず、お客さんに叱られてしまいました。同じ言葉でも使用する場面で意味が異なります。また、私にとって聞き取ることは一番の問題になりました。実際に日本人と話すとき全然聞きとれなかったです。いくら勉強してもなかなか上達しなかったため自分をよく責めました。「周りのひとより自分は本当にダメなんだ」とがっかりしてしまいました。そんな時諦めようとしてすぐに国へ帰ろうと思いました。しかし母からの電話で「ガンちゃん、ご飯を食べてる？日本語をちゃんと勉強してる？アルバイトはうまくできてる？」と励ましてもらうたびにもっと頑張らないといけないと思いました。

その時、自分が頑張れるための何かを探していると東日本大震災の動画に出会いました。「ガタガタガタ」という大きな音や叫び声、逃げ惑う人々がいました。津波は一瞬にして家々を押しつぶし、途中で飲み込まれてしまった人もたくさんいました。すべてのものを奪いました。家も家族も友達も、とても悲しい出来事でした。しかし、さらに驚いたことは日本人が大震災の後、悲しみに耐え、助け合って街づくりをしました。また、最近では能登半島地震で人や家等失ってもまちの復興のため人々は協力しあっています。この出来事を通して自分の苦労は地震の困難に比べれば何でもないとわかりました。努力する日本人の姿は私の手本となり、困難にもまげずに頑張りが続けることができました。そして、その気持ちを今日はここに伝えます。

皆さん、人生は何が起こるかわかりません。後悔しないようにやりたいことをやってください。壁にぶつかっても諦めてはいけません。一つのことを努力していけばその先には必ず幸せがあることを信じて歩み続けていきましょう！